

履修モデル（経営学部 会計ファイナンス学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したいかが明示しているものが「履修モデル」です。
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・会計ファイナンス学科	対象入学年度	2025年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部会計ファイナンス学科では、学則第2条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「学士(経営学)」の学位を授与します。 (知識・技能) 1. アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の専門知識を身につけている。 2. ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、データサイエンス、国際ビジネスなどの分野の基礎知識を身につけている。 3. ビジネスの現場における問題を発見、分析、解決するために必要な情報を集めることができる。 (幅広い教養・豊かな人間性及び社会的倫理観を身につけている) (思考力・判断力・表現力) 1. 上述の知識、及び集めた情報を筋道立てて活用し、ビジネスの現場における問題の発見、分析、及び解決策の提案ができる。 2. 上記の一連の流れを、分かりやすく言語化することができる。 (主体性・多様性・協働性) 1. 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力を有している。 2. 多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。		
カリキュラム・ポリシー	経営学部会計ファイナンス学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、全学部共通で示す教育課程の編成・実施方針に加え、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。 (教育内容) 1. 広義の経営学を7分野に分け、会計ファイナンス学科にはこのうち「アカウンティング」「ファイナンス」「ビジネス・デザイン」の3コースを設ける。 2. 経営学部両学科各コースの基礎的知識を横断的に学修できるように、「学部共通部門」を設置する。 3. 会計ファイナンス学科共通の基礎的知識・技能を横断的に学修できるように、「学科共通部門」を設置する。 4. 所属コースに関する専門的内容を深く、体系的に学修できるように、コースごとに科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定める。 5. ビジネス・マネジメント等の学修機会を得られるよう、経営学専攻科目にも柔軟に履修可能とする。 6. 各科目で学んだ知識、考え方の総合力、応用力、表現力を涵養するため、各コースとも専門演習4単位を必修とする。 7. 幅広い教養、豊かな人間性、社会的倫理観、及び国際的教養と視野を身につけられるよう、共通教育科目の「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「スポーツ・健康」の各分野にそれぞれ必要修得単位数を設ける。 (教育方法) 1. 専門演習や入門演習等の演習系科目においてはアクティブ・ラーニング、PBL(Project Based Learning、課題解決型学習)等の教授法を積極的に取り入れ、知識を伝授する座学にとどまらず、知識を基盤とした能動的学修を通じて、実践的な教育を目指す。 2. LMS(Learning Management System: オンラインによる学習管理システム)として「Moodle」を活用し、学生との双方向的な教育を推進する。 3. 演習系や実習系の科目に対する少人数制や大人数科目に対する分割開講などの採用により、授業内容・形式に応じた適切な履修指導を設定する。 4. シラバスにおいて「準備学習・事後学習」を全授業科目で明示することで、学生の授業外での学習を促し、学習時間確保と単位の実質化に努める。 5. 履修モデル、カリキュラムマップを示すことにより、体系的・段階的な学修ができるようにする。 (学修成果の評価) 経営学部会計ファイナンス学科では、本学における学修成果の評価方針(アセスメント・ポリシー)に基づき、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。 1. 教育課程(メソ)での評価は、学修成果アンケート、単位取得率、GPA分布(年度毎、通算)、留年率、必修科目や専門演習の成果評価割合等により行う。 2. 授業科目(ミクロ)での評価は、シラバス(成績評価の方法と基準)で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行う。		

履修モデル	コース	アカウンティング
養成する人材像	公認会計士・税理士などの専門職、ならびに企業で経理・原価管理・利益管理・経営企画等を担当できる高度な会計知識を持った人材	

		1年次		2年次				3年次				4年次				合計単位			
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位		第8セメスター	単位	
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1									6	
		Practical English	1	TOEIC I	1														4
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1														
		〇〇語基礎I	1	〇〇語基礎II	1														
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	数理・情報分野科目	2	数理・情報分野科目	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2									24	
人文分野科目		2	人文分野科目	2	社会分野科目	2	社会分野科目	2											
スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2															2		
専門教育科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2	流通論	2										18		
		会計学入門	2	企業法	2														
		ミクロ経済学	2	経営統計	2														
				マーケティング論	2														
	学科共通部門	商業簿記初級	2	商業簿記中級I	2	商業簿記中級II	2	上級簿記I	2	上級簿記II	2	上級簿記III	2				16		
						税法入門	2			経営分析論	2								
					会計学基礎理論	2	財務諸表論	2	財務会計論総合研究	2	制度会計論	2							
					原価計算論I	2	原価計算論II	2	原価計算論総合研究	2	管理会計応用理論	2							
	アカウンティング部門				工業簿記	2					管理会計基礎理論	2					40		
							連結会計論	2	会計監査論I	2	会計監査論II	2							
									税務会計基礎理論	2	会計監査論総合研究	2							
									国際会計論	2	税務会計応用理論	2							
演習部門	入門ゼミ	2		基礎ゼミ	2			外国書講読I	2	外国書講読II	2	専門演習III	2	専門演習IV	2	20			
								専門演習I	2	専門演習II	2	卒業論文		4					
その他								会計学特殊講義I	2							2			
合計		22		22		19		17		22		22		2		6	132		

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
 (1)外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語6単位、計2か国語 10単位
 (2)数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
 (3)スポーツ・健康分野 2単位
 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
 (1)学部共通部門 10単位
 (2)学科共通部門 2単位
 (3)アカウンティング部門 16単位
 (4)演習部門 4単位
 (5)経営学部専門教育科目 32単位
 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（経営学部 会計ファイナンス学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したいかが明示しているものが「履修モデル」です。学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・会計ファイナンス学科	対象入学年度	2025年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	<p>経営学部会計ファイナンス学科では、学則第2条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「学士(経営学)」の学位を授与します。</p> <p>(知識・技能)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の専門知識を身につけている。 2. ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、データサイエンス、国際ビジネスなどの分野の基礎知識を身につけている。 3. ビジネスの現場における問題を発見、分析、解決するために必要な情報を集めることができる。 4. 幅広い教養、豊かな人間性及び社会的倫理観を身につけている。 <p>(思考力・判断力・表現力)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上述の知識、及び集めた情報を筋道立てて活用し、ビジネスの現場における問題の発見、分析、及び解決策の提案ができる。 2. 上記の一連の流れを、分かりやすく言語化することができる。 <p>(主体性・多様性・協働性)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力を有している。 2. 多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。 		
カリキュラム・ポリシー	<p>経営学部会計ファイナンス学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、全学部共通で示す教育課程の編成・実施方針に加え、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。</p> <p>(教育内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広義の経営学を7分野に分け、会計ファイナンス学科にはこのうち「アカウンティング」「ファイナンス」「ビジネス・デザイン」の3コースを設ける。 2. 経営学部両学科各コースの基礎的知識を横断的に学修できるように、「学部共通部門」を設置する。 3. 会計ファイナンス学科共通の基礎的知識・技能を横断的に学修できるように、「学科共通部門」を設置する。 4. 所属コースに関する専門的内容を深く、体系的に学修できるように、コースごとに科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定める。 5. ビジネス・マネジメント等の学修機会を得られるよう、経営学学科科目も柔軟に履修可能とする。 6. 各科目で学んだ知識、考え方の総合力、応用力、表現力を涵養するため、各コースとも専門演習4単位を必修とする。 7. 幅広い教養、豊かな人間性、社会的倫理観、及び国際的教養と視野を身につけられるよう、共通教育科目の「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「スポーツ・健康」の各分野にそれぞれ必要修得単位数を設ける。 <p>(教育方法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門演習や入門演習等の演習系科目においてはアクティブ・ラーニング、PBL(Project Based Learning、課題解決型学習)等の教授法を積極的に取り入れ、知識を伝授する座学にとどまらず、知識を基盤とした能動的学修を通じて、実践的な教育を目指す。 2. LMS(Learning Management System: オンラインによる学習管理システム)として「Moodle」を活用し、学生との双方向的な教育を推進する。 3. 演習系や実習系の科目に対する少人数制や大人数制に対する分割開講などの採用により、授業内容・形式に応じた適切な履修機会を設定する。 4. シラバスにおいて「準備学習・事後学習」を全授業科目で明示することで、学生の授業外での学習を促し、学習時間確保と単位の実質化に努める。 5. 履修モデル、カリキュラムマップを示すことにより、体系的・段階的な学修ができるようにする。 <p>(学修成果の評価)</p> <p>経営学部会計ファイナンス学科では、本学における学修成果の評価方針(アセスメント・ポリシー)に基づき、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程(メソ)での評価は、学修成果アンケート、単位取得率、GPA分布(年度毎、通算)、留年率、必修科目や専門演習の成果評価割合等により行う。 2. 授業科目(ミクロ)での評価は、シラバス(成績評価の方法と基準)で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行う。 		

履修モデル	コース	ファイナンス
養成する人材像	金融・ファイナンスの基礎理論を踏まえて、実際の資金調達・運用を客観的な立場から合理的かつ柔軟に考えることができる人材	

		1年次		2年次				3年次				4年次				合計単位		
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位		第8セメスター	単位
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1									6
		Practical English	1	TOEIC I	1													
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1													
		〇〇語基礎I	1	〇〇語基礎II	1													
	4																	
数理・情報分野	数理・情報分野科目	2	数理・情報分野科目	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2									22	
	社会分野	2	人文分野科目	2	社会分野科目	2	社会分野科目	2										
スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2															2	
専門教育科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2	流通論	2										18	
		会計学入門	2	企業法	2													
		ミクロ経済学	2	経営統計	2													
				マーケティング論	2													
	学科共通部門	商業簿記初級	2	商業簿記中級I	2	商業簿記中級II	2	上級簿記I	2	上級簿記II	2	上級簿記III	2				16	
								税法入門	2			経営分析論	2					
	ファイナンス部門					金融論	2	金融政策	2	金融機関論	2						30	
						コーポレートファイナンス論I	2	コーポレートファイナンス論II	2	証券分析論	2							
						国際経済論	2	金融・証券市場論	2									
						国際金融論	2	経営財務論	2									
					年金・保険論	2	パーソナルファイナンス	2	金融工学	2								
					財政学	2			国際財務論	2								
演習部門	入門ゼミ	2					基礎ゼミ	2	外国書講義I	2	外国書講義II	2	外国書講義III	2	外国書講義IV	2	24	
									専門演習I	2	専門演習II	2	専門演習III	2	専門演習IV	2		
その他														卒業論文		4		
合計		22		22		21		21		18		8		4		8	124	

卒業要件(卒業必要単位:124単位)

1. 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語6単位、計12外国語 10単位
 - (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含み数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
 - (3) スポーツ・健康分野 2単位
2. 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 学部共通部門 10単位
 - (2) 学科共通部門 2単位
 - (3) ファイナンス部門 14単位
 - (4) 演習部門 4単位
 - (5) 経営学部専門教育科目 34単位
3. 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（経営学部 会計ファイナンス学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したいかを明示しているものが「履修モデル」です。
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・会計ファイナンス学科	対象入学年度	2025年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部会計ファイナンス学科では、学則第2条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「学士(経営学)」の学位を授与します。 (知識・技能) 1. アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の専門知識を身につけている。 2. ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、データサイエンス、国際ビジネスなどの分野の基礎知識を身につけている。 3. ビジネスの現場における問題を発見、分析、解決するために必要な情報を集めることができる。 (幅広い教養・豊かな人間性及び社会的倫理観を身につけている) (思考力・判断力・表現力) 1. 上述の知識、及び集めた情報を筋道立てて活用し、ビジネスの現場における問題の発見、分析、及び解決策の提案ができる。 2. 上記の一連の流れを、分かりやすく言語化することができる。 (主体性・多様性・協働性) 1. 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力を有している。 2. 多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。		
カリキュラム・ポリシー	経営学部会計ファイナンス学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、全学部共通で示す教育課程の編成・実施方針に加え、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。 (教育内容) 1. 広義の経営学を7分野に分け、会計ファイナンス学科にはこのうち「アカウンティング」「ファイナンス」「ビジネス・デザイン」の3コースを設ける。 2. 経営学部両学科各コースの基礎的知識を横断的に学修できるよう、「学部共通部門」を設置する。 3. 会計ファイナンス学科共通の基礎的知識・技能を横断的に学修できるよう、「学科共通部門」を設置する。 4. 所属コースに関する専門的内容を深く、体系的に学修できるよう、コースごとに科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定める。 5. ビジネス・マネジメント等の学修機会を得られるよう、経営学科科目も柔軟に履修可能とする。 6. 各科目で学んだ知識、考え方の総合力、応用力、表現力を涵養するため、各コースとも専門演習4単位を必修とする。 7. 幅広い教養、豊かな人間性、社会的倫理観、及び国際的教養と視野を身につけられるよう、共通教育科目の「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「スポーツ・健康」の各分野にそれぞれ必要修得単位数を設ける。 (教育方法) 1. 専門演習や入門演習等の演習系科目においてはアクティブ・ラーニング、PBL(Project Based Learning、課題解決型学習)等の教授法を積極的に取り入れ、知識を伝授する座学にとどまらず、知識を基盤とした能動的な学修を通じて、実践的な教育を目指す。 2. LMS(Learning Management System: オンラインによる学習管理システム)として「Moodle」を活用し、学生との双方向的な教育を推進する。 3. 演習系や実習系の科目に対する少人数制や大人数科目に対する分割開講などの採用により、授業内容・形式に応じた適切な履修指導を設定する。 4. シラバスにおいて「準備学習・事後学習」を全授業科目で明示することで、学生の授業外での学習を促し、学習時間確保と単位の実質化に努める。 5. 履修モデル、カリキュラムマップを示すことにより、体系的・段階的な学修ができるようにする。 (学修成果の評価) 経営学部会計ファイナンス学科では、本学における学修成果の評価方針(アセスメント・ポリシー)に基づき、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。 1. 教育課程(メソ)での評価は、学修成果アンケート、単位取得率、学位取得率、GPA分布(年度毎、通算)、留年率、必修科目や専門演習の成果評価割合等により行う。 2. 授業科目(ミクロ)での評価は、シラバス(成績評価の方法と基準)で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行う。		

履修モデル	コース	ビジネスデザイン
養成する人材像	事業の構想力及びその実現力を備えて、一般企業や公共機関・NPO等の企画部門及び組織運営部門において活躍できる人材	

		1年次		2年次				3年次				4年次				合計単位			
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位		第8セメスター	単位	
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1									6	
		Practical English	1	TOEIC I	1														4
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1														
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	数理・情報分野科目	2	数理・情報分野科目	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2									20	
		人文分野科目	2	人文分野科目	2	社会分野科目	2	社会分野科目	2										
		総合を含む5分野のうち1科目	2	総合を含む5分野のうち1科目	2														
スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2															2		
専門教育科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2													18	
		会計学入門	2	企業法	2	デジタルビジネス論	2												
		ミクロ経済学	2	経営統計	2														
				マーケティング論	2														
	学科共通部門	商業簿記初級	2	商業簿記中級 I	2	商業簿記中級 II	2	上級簿記 I	2	上級簿記 II	2	上級簿記 III	2					16	
								税法入門	2			経営分析論	2						
	ビジネスデザイン部門					社会調査方法論	2	ビジネスデザイン	2	企業価値評価論	2	ソーシャルデザイン	2					36	
						社会とデータサイエンス	2	企業論 II	2	地域経営分析論	2	CSR分析論	2						
						企業論 I	2	経営組織論 I	2	リスクマネジメント	2	ケーススタディ	2						
						経営戦略論 I	2	ビジネスモデル論	2	経済性分析	2								
	演習部門	入門ゼミ	2		基礎ゼミ	2			外国書講読 I	2	外国書講読 II	2	外国書講読 III	2	外国書講読 IV	2		24	
									専門演習 I	2	専門演習 II	2	専門演習 III	2	専門演習 IV	2			
	その他														卒業論文			4	
	他学科科目								会計学特殊講義 I	2								6	
								経営戦略論 II	2	経営組織論 II	2								
合計		22	22	21	21	21	21	22	22	14	4	4	8	134					

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
 (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2か国語 10単位
 (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
 (3) スポーツ・健康分野 2単位
 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
 (1) 学部共通部門 10単位
 (2) 学科共通部門 2単位
 (3) ビジネスデザイン部門 14単位
 (4) 演習部門 4単位
 (5) 経営学部専門教育科目 34単位
 3 上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。